



# 北海道大学

## 海外派遣報告(長期)

「マサチューセッツ大学アマースト校  
(UMass Amherst)における継続的な実務研  
修プログラムの構築および各種調査」

北海道大学附属図書館 城 恭子

平成28年6月17日(金) 国立大学図書館協会第63回総会

- ① UMass Amherst研修概要
- ② 調査結果
- ③ まとめ



## 5大学 (UMass Amherst+近隣大学×2+2)



## ① **学習支援**業務担当者向け研修プログラム

「学習支援に必要な**スキル**は何か」

「**研修**を受けているか」

## ② ステークホルダーとの**協働・連携**事例



**52**人にインタビュー（ライブラリアン**43**人、  
教員**2**人、他部署スタッフ**6**人、学生**1**人）



## “Job Description”とは

職務内容説明書《職務分析に基づき、職務に必要な**作業・設備・能力・資格・条件**などについて分類記載したもの》。研究社。医学英和辞典。JapanKnowledgeLib.



## UMass Amherst の場合

- 職名
- ざっくりとした業務所掌
- 上司/部下
- **義務/責任を負う業務**
- 求められる**資格/能力/資質**



## UMass Amherstの場合

- 2年以上の情報リテラシー**経験**
- “ACRL Information Literacy Competency Standards for Higher Education”に対する実用的な**知識**
- 教育や訓練、評価の**経験**
- WEBツールに関する**テクニカルな技能** など

※教員免許までは求められていない





**体系的な研修はない。基本的には自己研鑽**

米国大学・研究図書館協会（ACRL）等によるオンライン講習、集合研修

**学習支援強化の必要性**

⇒ライブラリアン向けFDの企画・実施  
(×学内FDセクション) @UMass Amherst



## 雇用者

⇒ 「今」あるいは「これから」必要な人材をピンポイントで集める

## 被雇用者

⇒ ミッションと評価の明確化

⇒ 自己研鑽に対する指針が立てやすい

⇒ モチベーションを維持しやすい



## ユーザー-エクスペリエンス [user experience] とは

**製品・サービスを使用する際の印象や体験。** 使い勝手や操作感を意味するユーザビリティやユーザーインターフェースより広い概念であり、製品を所有したり、サービスに接したりする過程で得られる、**満足感や喜び**といった質的・精神的価値に重きを置く。ユーザー体験。UX。

(小学館.デジタル大辞泉. JapanKnowledgeLib)



**UX手法**を用いて、利用者にとってより最適な図書館を**デザイン**（ウェブサイト、フロア設計、ゾーニング等）

**例)**

**Research, Instruction  
& User Experience Librarian  
@Amherst College  
2015年1月～**



## 多様なユーザー

(新入生/学部生/院生/研究者/教員/職員/留学生/修学支援学生/高校生とその家族/一般市民/…)

## それぞれにとって最適なサービス

(学習/教育/研究支援)

⇒ **UX**という新しい？理論・手法

⇒ ステークホルダーとの**協働**を**促進**する  
仕組み



## 最初の問い：

「我々**日本の**大学図書館における学習支援業務担当者に求められるスキルとは何か」

「それを得るためにどのような研修が必要なのか」



## “Job Description”という存在

- 学術情報リテラシー担当者研修(H15-H27)
- 日本における大学図書館職員の**専門性**



## ステークホルダーとの協働の重要性

➤ 図書館という「場所」

➤ 進化し続けるライブラリアン





## 人的ネットワークの構築

- 課題・グッドプラクティスの**共有**
- **双方**の課題解決に資する**関係性**

